

ホウレン草のカルテック栽培 (10アール当り)

時期	方法	資材
土作り	なるべく早い時期に	ラクトバチルス 600g…排水よく、肥沃な土を作り、根張りを深くします。 堆厩肥500kg以上 硫安 80～100kg ※もし通常の複合肥料なら、チッソ成分20kg程度
整地時	整地時に全面散布	畑のカルシウム 40～60kg ※必ず土壌pH6.5～7.0となるように調整して下さい。 特に酸性のはげしい土壌pHを中和する場合は、土作り時にカルシウムを投入して下さい。 硝酸態チッソの生成によって土壌が酸性化する例も多いので ご注意下さい。 (もし特に速く生長させたい場合は 硫安20kgを追加します)
播種時	播種後の灌水の時に	濃縮酵素液 500倍液 … 初期の根張り促進, 土壌病害対策
生育途中	葉面散布	濃縮酵素液 500倍液を葉面散布 (根・生長の促進) 生育を強くするには、特に前半は根の力をつけることが大切です。 7日間隔で3回散布します。 ★ 特に生長が弱い場合、株腐れ・立枯れ等が心配なら、 灌水施用で、原液3～10リットル(300倍前後) メガデルトン・ネオスリー 800倍で葉面散布(チッソ補給) チッソなどの肥料成分を効かせる時に。 カルテックCa液状 500倍 (生育を引締め、葉の病害対策) チッソ過多の時や、葉を厚くしたい時は、カルシウムを葉面散布。
仕上げ	収穫前7～3日、葉面散布	カルテックCa液状 500倍 (葉を厚く充実させ、旨味を増し、品質を向上させます)



↑
左2つ
慣行農法

↑
右2つ
カルテック農法
(萎れにくいのが特長)



↑
慣行区

↑
カルテック区
カルシウム施用